

議会に一言!!

新人議員への期待と不安
 昨年新しい議員が5名誕生した。今回の新人議員は地域推薦とか親戚がいったとか。という今までは少し毛色の違う新人だ。

何かやってくれそうだしその議員はそれぞれ違った職種からの誕生である。商店主、ホテルの支配人、商業に精通した者、県内スポーツ界に精通した方等湯沢町のこれからの行方を熟知した議員が誕生したと思う。地域の住民の期待も同じであろう。何かと今までの議会構成が首長の仲良しクラブの様相を呈していたような気がする。

常に議会が行政の決定機関であり時には首長のやることを

細かく監視する。今、前途多難な今の湯沢町の舵取りを間違わないように活躍してほしい。湯沢の住民はどちらかというところ自身が主流であるが、攻撃は最大の防御となるという事も念頭に於いて活躍してほしい。ある企業は、若手をどんどん登用し活性化を図っている。つまりベテラン議員になればなるほど冒険できないし新鮮な提案もできない。すぐ過去の事例にこだわってしまい殻から抜け出せない。今回の5人衆がどんな活躍をするのか町民は期待と不安の思いで見ていると思う。頑張れ新人議員。

(男性 N・T 50代)

追跡レポート 第2回

あの提言はどうなったの？

これまでの質疑の中から二部を取り上げ、その後の経過を追跡してみました。

南雲 正議員の提言

「三国三俣地域の高校生に通学環境の整備を」

問 三国地域から高校に通う高校生は登下校時のバスが電車とうまく接続できず、通学先が限定され、保護者の送迎に頼らざるを得ない。交通費にも多額の費用を要し、早急の対策を願いたい。

答 バスの運行時間については高校の通学に足りるよう早急に申し入れを行う。交通費の出費についても高校生に限定せずこれから充分検討したい。



実施結果

南越後観光バス(株)とも協議を行いました。湯沢駅発7時台に合わせたバスの増便は多額の費用を要することから難しい面がありますが、このたびの学校統合等に合わせ「路線バスと通学・通園バス」の再編を行うため、この中で対応して参りたい。

なお、六日町への通学については、JRでの到着時刻が学校の始業ぎりぎりとなっていることから早めるよう要望する。また、送迎の交通費助成については、一定の子供たちだけに対応することは難しい状況にあります。